

ボランティアセンター 東日本大震災ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック有志

No 14 2011年5月20日
発行担当 ヘルスコープおおさか・白井

3件の引越しをお手伝い！

前日に引き続き、みやぎ県南医療生協の理事さんと一緒に、坂元中学避難所から別の避難所へ引越す方々のお手伝いを行いました。

次の避難所合は2階への引越のため、「おかげで早く済んだ」と非常に喜ばれました。

その後、尼崎医療生協から届いた自転車の



空気入れ
やチェーンのオイル、ブレー

キの調整など、自転車を快適に使ってもらえるよう調整しました。

50台全部を終わらせるにはまだまだ時間がかかりそうです。



少しずつ確実に自治力が回復

夜には県南医療生協の太田さんと一緒に、花釜地区の住民の方々と今後の進め方などを相談しました。

住民の方が自分たちで近所を訪問して対話され、自宅に帰っているのか、借家を借りているのかなど、回りの状況をつかむ努力をされています。

22日には近所で震災前の「班」が集まる機会も予定されており、少しずつ地域の自治能力が回復していることを感じました。

帰ってきた！森さん

22日の神戸医療生協を中心としたボランティアの受入れ準備のため、神戸から車を12時間飛ばして山根さん、森さん（3日前まで現地責任者としてがんばったあの森さん）が駆けつけて頂きました。

仮設住宅自治会との打ち合わせや現地でのタイムスケジュールなど、当日の混乱がないよう準備を進めてもらっています。